

本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒  
【重点目標】自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～



# 原町三中だより

令和4年10月7日(金)  
第24号  
発行責任者  
校長 志賀 嘉津美  
電話 22-3802

## 断るスキルを身に付けよう～正しいスマホの使い方～

10月2日(日)白河文化交流館コミネスで福島県PTA研究大会白河大会が開催されました。分科会では、「親子で話そう『ネットとの上手なつきあい方』」というテーマでスマホ時代に生きる情報モラルのあり方について静岡大学准教授 塩田先生の講話がありました。その中のいくつかを紹介します。

「**自画撮りトラブル**」が大きな問題となっていますが、ほとんどの生徒や保護者は「自分は(うちの子は)自撮りなんて送らない!」と思っているようです。そこで、「どんなとき」「だれに」「どのように送ってしまうのか」を考え、「自分が自画撮りを送ってしまうかもしれないシチュエーションを考える」というワークを行います。「もしかしたら自分も自画撮りトラブルにあってしまうかも」という場面(例えば、部活の先輩から「筋トレの成果を見るから上半身の写真を送って」等)を親子で考え、「断るスキル」を身に付けることが大事であるようです。

ゲームや動画閲覧などスマホの「**長時間使用**」も大きな問題です。「あと10分」が1時間2時間になってしまうこともしばしばです。いざ、次のことに取りかかろうとしても中々踏ん切りがつかず、ずるずると時間を過ごす場面があるかと思えます。どう「区切り」をつけるかです。例えば、何時まで、どのステージまでなど「どこまでやるか」を決めて、誰かに伝えておくとか。例えば、「ゲーム→勉強」ではなく、「ゲーム→好きな曲を1曲だけ→勉強」のように小さい楽しいものをはさんでみるとか。その内容はもちろんですが、自分がどのように時間を使っているかを知り、「区切り」方法を親子で考えることに大きな意義があるようです。

## 相双地区新人大会ソフトテニス競技

10月1日(土)・2日(日)南相馬市テニスコートにおきまして標記大会が開催されました。ホームページでもお知らせの通り、女子個人で1ペアがベスト8で県大会の出場権を得ることができました。団体戦は惜しくも、予選ブロックで敗退となりましたが、相手の強打にも臆さない積極的な攻めとペア同士互いに励まし合う姿が印象的でした。ベンチも一体となって2日間戦い抜きました。3年生も応援に駆けつけ声援を送っていました。県大会は相双地区の代表として堂々と戦ってきたいと思えます。

【女子個人】ベスト8 村田さん(2年) 高玉さん(2年)ペア

### 福島県中学生新人ソフトテニス大会

期日：令和4年11月6日(日)女子個人

場所：あづま総合運動公園庭球場

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の入場は、選手1名につき2名までとなります。



## 相馬地方小・中学校読書感想文コンクール

中学校応募総数1466点の中から審査の結果、特選7名と入賞35名が選出されました。本校からは、特選1名と入賞者3名が受賞しました。特選に輝いた渡邊さんの作品は、第68回青少年読書感想文コンクール福島県コンクールへ応募されることになりました。特選及び入賞作品と受賞者は以下のとおりです。

【特選】「食卓は、縁結びの場所」 渡邊さん(3年)

【入選】「子ども達を見捨てずに」 渡部さん(1年)

「クイールの人助け」 遠藤さん(2年)

「蝗害について考える」 木幡さん(3年)

## 地域行事のお知らせ

「〇年ぶりの開催」という告知が聞かれるようになりました。、コロナ禍前の諸行事が少しずつ元に戻ってきています。10月1日(土)まるさん・あったまるアリーナで太田大甕スポーツクラブ主催第19回スポーツフェスティバルが開催され、クラブの子ども達や保護者及び会員の方が輪投げ・ボッチャ・ストラックアウトなどの様々なゲームに汗を流しました。今後実施予定の太田地区と大甕地区の文化祭には、本校の吹奏楽部も賛助出演をいたします。地域の方々にぜひ足を運んでいただき、生徒の作品や演奏を楽しんでいただきたいと思います。

○10月23日(日)太田地区文化祭(太田生涯学習センター)

○11月6日(日)大甕地区文化祭(大甕生涯学習センター)



スポーツフェスティバルより  
選手宣誓